

一般質問要旨

(令和8年6月8日・9日)

(質問順序)

- | | | | | |
|----|-----|-----|----|---------|
| 1 | 金谷 | 真弓 | 議員 | (真政会) |
| 2 | 伊藤 | 励 | 議員 | (市民の風) |
| 3 | 吉田 | 勇一郎 | 議員 | (令和会) |
| 4 | 柳館 | 晃 | 議員 | (真政会) |
| 5 | 田村 | 儀光 | 議員 | (真政会) |
| 6 | 明石 | 宏康 | 議員 | (真政会) |
| 7 | 今泉 | まき子 | 議員 | (日本共産党) |
| 8 | 花田 | 強 | 議員 | (市民の風) |
| 9 | 相馬 | エミ子 | 議員 | (市民の風) |
| 10 | 佐藤 | 和幸 | 議員 | (真政会) |
| 11 | 工藤 | 賢一 | 議員 | (市民の風) |
| 12 | 佐々木 | 公司 | 議員 | (令和会) |
| 13 | 秋元 | 貞一 | 議員 | (令和会) |
| 14 | 小畑 | 新一 | 議員 | (公明党) |

○ 金 谷 真 弓 議 員 （ 真 政 会 ）

・ 大館市の未来の水道について

- (1) 法定耐用年数を超える老朽管路の更新と、老朽化する浄水場施設に対するさらなる対策をするべき
- (2) 水の官民連携について、今後の展望を伺う
- (3) 水インフラの持続的な管理・運営が重要となる。小規模分散型水循環システムの実証実験をしてはどうか
- (4) 災害時の給水車の使用等、応急的な給水体制の強化をしてはどうか

1. 小・中学校における金融教育について

- ・ 投資詐欺や闇バイト、オンラインカジノなど、子供や若者がお金に関するトラブルに巻き込まれるリスクが高まっている。また、2027年1月から予定されていることもNISAの創設により、金融教育の重要性はさらに高まるものとする。市内小・中学校における金融教育の現状と、今後の金融教育の方針について

2. お祭りインターンシップについて

- ・ 県外に進学した学生に対し、仕事だけではなく大館市の暮らしや地域の魅力を体感してもらうことも重要である。地域の祭りやイベントとインターンシップを組み合わせたお祭りインターンシップを官民連携で実施することで、関係人口の拡大や将来的なUターン、定住促進、祭りの担い手確保につながると考える。地域の祭りやイベントと連携したインターンシップ事業について、市の考えを伺う

○ 吉田 勇一郎 議員 (令和会)

- ・ 生ごみ減量によるごみ処理コスト削減と地域循環システムの構築について
 - (1) 生ごみの減量・資源化が将来の焼却施設整備費及び運営費の抑制に与える効果について、どのように認識しているか
 - (2) 次期おおだて未来づくりプランにおいて、生ごみの減量・資源循環の取組を環境、農業、脱炭素、DX等の分野を横断する地域循環インフラとして位置づける考えはないか

○ 柳 館 晃 議員 (真 政 会)

- ・ 公立保育施設の在り方について
- ・ 今後、ますます少子化が進んでいく。公共と民間の役割も含め、公立保育施設の在り方について、市長の考えを伺う

○ 田 村 儀 光 議 員 （ 真 政 会 ）

1. 経歴詐称疑惑について

2. 大館市民の力を積極的に活用すべき
 - (1) ベンチャーラボ、レガシーラボについて
 - (2) 地域応援プランについて
 - (3) 集落支援員について

3. ふるさと納税中間管理事業者について

4. 農業政策（有機農業推進の考え）について

5. 敬老事業の見直しの理由について

○ 明 石 宏 康 議 員 （ 真 政 会 ）

- ・ 大雪に備える除雪体制の構築について
 - (1) パンク状態であった事業者側にも多くの意見・要望があるはずである
 - (2) 意見交換などを有効に活用して、以降の大雪に備えてほしい

○ 今 泉 まき子 議員 (日本共産党)

1. 国保税の未就学児の均等割をゼロに

- ・ 基金等の一部活用で未就学児の均等割をゼロにすべき

2. ひとり親家庭の支援について

- (1) 市としての対応はどうだったのか
- (2) 今後このような悲しいことが起きないようにどのような対策を考えているのか
- (3) 地域コミュニティのつながりや宅配業者、郵便配達員などとの連携の再確認を

3. へき地保育所の閉園による影響は

- (1) 遠距離になった園児の送迎は
- (2) 父母の負担軽減対策を

○ 花 田 強 議員 (市民の風)

- ・ 除雪の支援策について
- ・ 令和7年3月定例会で除雪体制の構築についての提案をしたが、その後の取組状況は

○ 相 馬 エミ子 議員 (市民の風)

1. 公用車を利用したカーシェアリング事業について
2. ふるさと住民の登録者確保について
3. 高齢者の孤立を防ぐための支え合いについて
4. 閉所した下川沿保育所の利活用について

○ 佐藤 和幸 議員 (真政会)

1. 大館市を強く豊かに。地域未来戦略と Circular Hub ODATE について

- (1) 令和の時代における大館市の役割と成長戦略について
- (2) 資源・エネルギー・物流が循環する大館版地域産業クラスタービジョン
Circular Hub ODATE について
- (3) 大館駅インランドデポ構想と地域産業クラスター形成について

2. 子供たちが安心して通学するための熊対策について

- (1) 学校周辺や通学路を重点管理区域として位置づけ、熊を寄せつけない環境整備を進めてはどうか
- (2) ベアドッグ導入による新たな熊対策の可能性について

○ 工 藤 賢 一 議員 (市民の風)

1. ふるさと納税中間管理事業者の選定結果について

- (1) 公募型プロポーザルの審査結果について、市長としてどのように評価するか
- (2) 公募型プロポーザル実施において、透明性・公平性・客観性はどのように担保されているか
- (3) プロポーザル審査要領における評価項目と評価基準は、審査における最重要ポイントと考えるが、恣意性を排除し公平性を担保する工夫はなされているか

2. ゼロカーボンシティ（大館市地球温暖化対策実行計画）の進捗と今後の課題について

- (1) 再生可能エネルギー等の導入の推進についての現状と課題について、市長の見解を伺う
- (2) 地域新電力創設の進捗状況について、市長の見解を伺う

3. クリニックスタートアップ事業について

- (1) 事業の評価検証をどのように行っているか
- (2) 県医師会の医業承継支援対策と連携・連動した取組が必要ではないか

○ 佐々木 公 司 議員 (令 和 会)

1. 石田市長にとって「大館というところ」の目玉は何か

- ・ 何に最も力を入れて、大館力を発信するのか

2. 防災気象情報が見直されたが、大館市としての対応は

- (1) 令和8年5月29日から運用開始された新たな防災気象情報への大館市の対応と市民への周知は
- (2) 防災意識の向上と防災体制の強化の取組は

3. 人口減少対策についての施策は

- (1) 大館市の将来推計人口は
- (2) 合計特殊出生率と出生数は
- (3) 年齢別社会増減の推移と今後の予測は
- (4) 若者の人口移動と、その要因をどう捉えているか
- (5) 子育て支援体制は盤石か

4. 中東情勢の緊迫化が市民生活に及ぼす影響への対応は

- (1) 原油や原材料の供給調整は様々な形で物価高騰につながり市民生活への影響も増えてきているがその対応は
- (2) ナフサ不足の影響が日用品から住宅設備等まで及んでいるが、市の対応策は

5. 大館市の先人顕彰に対する整備について

- (1) 郷土博物館に先人顕彰コーナーはあるが、大館人として誇りと敬う気持ちを持つためにも、もっと環境整備するべき。それにより観光の目玉にもなると考えるが
- (2) 市に小西雪村等の独立した美術館を整備してはどうか

6. 高齢者や身体障害者などに住みよい環境整備について

- (1) 身寄りのない高齢者や身体障害者にとって住みよい大館市か
- (2) 高齢者の生活支援体制はどうか
- (3) 日本は85歳以上人口1,000万人時代に突入しているといわれているが、本市の対応は
- (4) 自分らしく生きるためのエンディングノート作成の講習会を行ってはどうか

7. プーチン大統領に再度秋田犬を贈り、世界平和外交のきっかけにしてはどうか

- ・ 日本とロシアの親善の証としてプーチン大統領に贈られた秋田犬のゆめが昨年亡くなった。大館市として再度贈呈することで平和外交の一助となるのではないか

○ 秋 元 貞 一 議員 (令 和 会)

1. 小学校の統廃合について

- ・ 統廃合を既定路線とせず、小規模校の魅力を生かしたデュアルスクール制度などの調査・研究と導入へ向けた検討もすべき

2. 市民有志が活躍できる補助金事業について

- ・ 過疎地域持続的発展計画の中の事業の一つであるまちづくり団体事業費補助金の内容を、意欲ある市民団体取り組みやすい制度へリニューアルしてはどうか

1. 大館市の人口減少対策に対する分析、評価、認識について

- (1) 第2期大館市総合戦略では、令和5年度の婚姻数の目標値が272、実績値が176となっている。費用と成果の分析及び評価は
- (2) おおだて未来づくりプランなどに計画されている、人口減少を緩やかにする各種施策の令和7年度までの結果をいかに分析、評価しているか
- (3) おおだて未来づくりプランの序章にある令和9年目標総人口62,700人の達成に向けた予算額と見通しは。また、結婚・子育て支援策に対する認識と評価は
- (4) 同プランの令和9年度の合計特殊出生率の目標値に1.63を掲げた根拠と達成のための予算及び成果の見通しは

2. 大館市の人口減少が進む中でどのように行政をスリム化し、サービスを充実させ、市民の福祉の増進を進めるのか

- (1) 今後の20年で20%以上の人口減少が予想される中、行政の規模をいかに縮小し、何の機能を絞っていくのか。一方、今後どのような分野に力を入れて経済成長と福祉の増進を図るのか
- (2) 市民サービスの見直しの前に、デジタルを活用し行政のスマート化を進め、コスト削減のために近隣自治体と広域連携を検討すべき
- (3) 大館の強みを生かした産業創出について、具体的計画は
- (4) 出生数の減少が進み、学区を再編し学校の配置を検討する必要がある。教育関係者や自治会なども含め、関係者と学区再編の審議会を立ち上げて、市民が納得できる形で進めるべき
- (5) 公民館やコミュニティセンター等の公共施設について、市は市全体を見て配置計画を見直し、施設の複合化を進め、管理費の削減をすべき

3. 避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組について

- (1) これまでの個別避難計画の作成状況は
- (2) 地方交付税措置された個別避難計画の作成経費の支出状況は
- (3) 要支援者名簿登録者数は今後大幅に伸びることが想定される。今後の予算をどのように考えているか
- (4) 個別避難計画作成担当部署は、防災担当部署と福祉担当部署の連携・共同管轄にすべき